

北 陸 大 学 証

(平成 28 年 9 月 23 日改訂)

○建学の精神・教育理念 「自然を愛し、生命を尊び、真理を究める人間の形成」

金沢における教育の淵源は五代加賀藩主前田綱紀えんげんにあり、綱紀の遺徳を偲しのび人々は諡号しごう（おくり名）を「松雲公しょううん」として慶うらしました。松雲公は民心に心を砕き様々な施策を行いました。特に、学問の奨励により加賀藩を天下の書府と言わしめたのは松雲公の功績に他ならず、この史実を基に、松雲公を拝して昭和 50(1975)年に学校法人「松雲学園」として開学し（昭和 60(1985)年に現在の学校法人北陸大学に変更）、松雲公の「自然を愛し、生命を畏敬する」精神を体して、本学の「建学の精神・教育理念」が生まれました。また、校歌にもこの精神と理念が謳うたわれています。

○使命・目的 「健康社会の実現」

北陸大学開学式（昭和 50(1975)年 11 月）において、初代林屋亀次郎理事長は「人類の文化の躍進と福祉の向上に貢献する」とし、初代三浦孝次学長は「本学は、総合大学として発展するものであり、(中略) 国民の健康に奉仕する目的をもつ」としました。身体からだの健康のみならず、精神こころの健康、健全な生活を営むことのできる社会の健康、つまり、建学の精神にも宿る「健康社会の実現」が本学の使命・目的です。

○行動規範 「学生第一主義」

学位授与方針(ディプロマポリシー)に基づき学位が授与され、「自ら考える力」「21 世紀を生き抜く力」を手にして社会に巣立つ、そのために、必要なことに全力で取り組む「学生第一主義」を基本とする行動規範を次のとおり定めます。

1. 学生一人ひとりに全力を尽くす「学生第一主義」を実践する。
2. 先達の労を忘れず、「建学の精神」「使命・目的」を心に銘ずる。
3. 大学人としての誇りと自覚を持ち、行動と結果に責任を持つ。
4. 自身の発展と向上のため、修養と研鑽を積む。